

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年次	2単位	選択	講義
担当教員				
俵章浩				
人文・社会科学				

授業概要	<p>これまでの世界の歴史を眺めると文化の形成には科学や技術の影響が大きいことが分かる。この授業では科学・技術の歴史を学び、またそれが文化に及ぼした影響について見ていく。この授業を通じ、今後の社会における工学の役割について自分で考えるためのヒントを得ることをめざす。</p> <p>文化論Iでは、古代ギリシアに生まれた科学的なものの見方や考え方が、中世イスラーム世界を経てヨーロッパの十七世紀の科学革命までどのように移り変わってきたのかについて、代表的な人物や事例に焦点を絞って概観する。近代科学の成立以前の時期を主に扱うこの授業では思想史の内容を多く含む。</p>
授業計画	<p>第1回 科学の精神 キーワード：科学史，明治維新，お雇い外国人 予習：キーワードについてネット上で調べ、今学期に扱う内容についてのイメージを掴む。 復習：明治期の日本の近代化に貢献した代表的な人物についての課題に取り組む。</p> <p>第2回 ギリシアにおける自然学の誕生 キーワード：古代ギリシア，コスモス，自然学 予習：キーワードについてネット上で調べ、古代ギリシアの自然観についてのイメージを掴む。 復習：ソクラテス以前の哲学についての課題に取り組む。</p> <p>第3回 アリストテレスの自然学体系と宇宙論 キーワード：アリストテレス，天動説，宇宙像 予習：キーワードについてネット上で調べ、アリストテレスについてのイメージを掴む。 復習：アリストテレスの思想についての課題に取り組む。</p> <p>第4回 ローマ帝政初期の思想 キーワード：ローマ帝国，旧約聖書，プトレマイオス 予習：キーワードについてネット上で調べ、ローマ時代についてのイメージを掴む。 復習：宗教と哲学の関連、およびプトレマイオスの天文学についての課題に取り組む。</p> <p>第5回 ガレノスとその時代 キーワード：ガレノス，キリスト教，ユスティノス 予習：キーワードについてネット上で調べ、ガレノスについてのイメージを掴む。 復習：ガレノスの病理学と生理学についての課題に取り組む。</p> <p>第6回 古代キリスト教とギリシア哲学 キーワード：古代末期，新プラトン主義，プロティノス 予習：キーワードについてネット上で調べ、古代末期についてのイメージを掴む。 復習：新プラトン主義の思想の特徴についての課題に取り組む。</p> <p>第7回 新プラトン主義の継承 キーワード：東ローマ帝国，ディオニュシオス文書 予習：キーワードについてネット上で調べ、東ローマ帝国についてのイメージを掴む。復習：新プラトン主義の思想の特徴についての課題に取り組む。</p> <p>第8回 中央アジア／西アジア／中東 キーワード：イスラーム，アラビア語，中東 予習：キーワードについてネット上で調べ、イスラーム世界についてのイメージを掴む。 復習：イスラーム教やアラビア語についての課題に取り組む。</p> <p>第9回 中世イスラーム世界の思想 キーワード：バグダード，アッバース朝，イブン・スィーナー 予習：キーワードについてネット上で調べ、中世イスラームについてのイメージを掴む。 復習：バグダードにおける翻訳運動についての課題に取り組む。</p> <p>第10回 西洋中世の科学 キーワード：十二世紀ルネサンス，大学の歴史，中世ヨーロッパ 予習：キーワードについてネット上で調べ、中世ヨーロッパについてのイメージを掴む。 復習：アラビア世界からの学問の導入についての課題に取り組む。</p> <p>第11回 コペルニクス革命 キーワード：コペルニクス，印刷術，グーテンベルク 予習：キーワードについてネット上で調べ、中世の天文学についてのイメージを掴む。 復習：コペルニクスの天文学についての課題に取り組む。</p> <p>第12回 ガリレオと地動説 キーワード：ガリレオ，地動説，ケプラー 予習：キーワードについてネット上で調べ、ガリレオのイメージを掴む。 復習：太陽中心説についての課題に取り組む。</p> <p>第13回 植物への眼差し—古代から中世までの植物学史 キーワード：テオフラストス，ディオスコリデス，植物園 予習：キーワードについてネット上で調べ、植物学史のイメージを掴む。 復習：植物学史に関する課題に取り組む。</p> <p>第14回 文化論Iの総括1 まとめと復習 予習：学期中前半に学んだ内容を振り返る。 復習：授業で扱った内容に関する課題に取り組む。</p> <p>第15回 文化論Iの総括2 まとめと復習</p>

	予習：学期中後半に学んだ内容を振り返る。 復習：講義全体の内容に関する課題に取り組む。
実務経験に基づく知識の伝達	該当しない。
学修・教育目標に対する科目の位置付け	科学・技術が文化にどのような影響を及ぼしてきたのか具体例を挙げて論じることができる（学修・教育目標1）【幅広い視野と技術者倫理の涵養】。 授業時間：90分×15回 予習復習の時間：3時間×15回
教科書	特になし。
参考書	伊東俊太郎『人類史の精神革命—ソクラテス、孔子、ブッダ、イエスの生涯と思想』中央公論新社、2022年。 池上英洋『錬金術の歴史—秘めたるわざの思想と凶像』創元社、2023年。 大島明秀『蘭学の九州』弦書房、2022年。 大森荘蔵『知の構築とその呪縛』ちくま学芸文庫、1994年。 国立歴史民俗博物館/青木隆浩『人と植物の文化史』古今書院、2017年。 小曾戸洋『新版 漢方の歴史—中国・日本の伝統医学』大修館書店、2014年。 中山茂『パラダイムと科学革命の歴史』講談社学術文庫、2013年。  参考資料は他にも、授業中に各回の講義内容に関連するものを紹介する。
評価基準及び成績評価方法	【幅広い視野と技術者倫理の涵養】に関して、課題の成績により評価する。 課題は二種類ある。一つは講義ごとの課題である。毎回の講義で配布される課題に答えて提出することが求められる。設問は講義の内容に関するものである。もう一つは読書課題である。一か月半の間に、授業内容に関連する本を四冊読み、それぞれの本の内容について簡単なコメント（400字以上）を書くことが求められる。読書課題は学期中に二回設定する。そのため合計八冊の本を読むことになる。読む箇所は部分的でもよい（導入部のみ、第二章のみなど）。また、オンライン書店などで無料公開されている部分だけでもよい。 この授業を通じて到達すべき目標は、科学という営みの特徴について説明できること、古代ギリシア時代の代表的な哲学者の思想を理解できること、ギリシアから中東を経てヨーロッパに学問が移転する流れを把握できること、近代ヨーロッパの科学の展開について具体的に論述できること、さらに、こうした科学の営みが文化に与えた影響について考察できることである。 課題レポートにおいて剽窃が発覚した場合、最終評価は「F」（不可）とする。
達成度の伝達及び達成度評価	◎達成度の伝達 講義ごとに課題の解答例を掲示しコメントを付す。 ◎達成度評価 (100) ① 幅広い視野と技術者倫理の涵養 ( ) ② コミュニケーション能力と表現力の涵養 ( ) ③ 自然科学の理解 ( ) ④ 専門知識の確実な修得と実務に応用できる能力の修得 ( ) ⑤ 積極性と自己学修の習慣 ( ) ⑥ 知識を統合し計画的に作業を進める能力の育成
資格情報	特になし。
オフィスアワー	水曜日3コマ目。
備考	講義を聞いて終わりではなく、疑問に思ったことや興味を持ったことについて各自読書を通じて理解を深めることを期待する。そのため、各回の講義に関連する本を自分で探して読むことを課題とする。
履修登録条件	